

# 第51期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

## p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

## p.02 主要製品の概況

## p.04 トピックス

TOPICS  
1

「次世代改札機」実証実験参加

TOPICS  
2

フラッパーゲート式駐輪システム販売開始

TOPICS  
3

新型地震計「STR-363」販売開始

## p.05

決算データ

## p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員の状況



代表取締役社長

高見澤和夫

## 世の中に必要不可欠な 会社を目指して

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第51期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善などにより緩やかに回復しておりますが、2020年初頭より新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、先行き不透明な状況で推移しました。

この様な中、当社グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の専門メーカーとして、鋭意営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高につきましては、主に交通システム機器において、自動券売機をはじめとする出改札関連機器の複数の大型案件対応や機器の改造等により売り上げが増加したこと、また、特機システム機器が堅調に推移したことなどにより、当連結会計年度の売上高は164億8千1百万円（前連結会計年度比38.6%増）となりました。

また、損益面につきましては、売上高の増加、売上原価率の良化等により、営業利益12億4千万円（前連結会計年度は6億1千9百万円の損失）、経常利益12億5百万円（同6億6千万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益8億2千7百万円（同4億8千6百万円の損失）となりました。

当社グループは、お蔭様で2019年10月1日に創立50周年を迎えることができました。今後も社会インフラの分野で製品を提供することで、「世の中に必要不可欠な会社」を目指して邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

2020年6月



## 交通システム機器

売上高

97億6千万円

前期比 **76.8%**

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・自動定期券発行機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、出改札関連機器の複数の大型案件対応や機器の改造等が増加したことにより、売上高は97億6千万円となり、前期と比べ76.8%の増加となりました。



乗り越し精算機  
東京地下鉄様 渋谷駅



ホームドア  
京王電鉄様 飛田給駅



## メカトロ機器

売上高

26億8千1百万円

前期比 **1.5%**

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket: チケット)、B (Bill: 紙幣)、C (Coin: 硬貨)、C (Card: カード) 処理技術に応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、主に国内向け硬貨処理装置の売り上げが増加したことにより、売上高は26億8千1百万円となり、前期と比べ1.5%の増加となりました。



中国向けコインユニット



### 特機システム機器

売上高

19億6千5百万円

前期比24.1% 

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行う「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊

が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当期におきましては、セキュリティシステム、防災計測システム、パーキングシステムのいずれの売上高も増加したことにより、売上高は19億6千5百万円となり、前期と比べ24.1%の増加となりました。



電磁ラック式駐輪場管理システム



セキュリティゲート  
六本木ヒルズ様



## 01 「次世代改札機」 実証実験参加

当社は、大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）様が実施している顔認証等を用いた「次世代改札機」の実証実験に参加しています。当社の改札機は、デザインを重視したセキュリティゲートTAG-13000シリーズをベースとしており、御堂筋線 大国町駅 北改札口付近に設置されています。

実証実験は、2020年9月まで行われる予定です。



次世代改札機



フラッパーゲート式駐輪システム

## 02 フラッパーゲート式駐輪システム販売開始

当社は、2019年6月「フラッパーゲート式駐輪システム」の開発を完了し、販売を開始しました。

このシステムは、周囲をフェンスや柵で囲んだ駐輪スペースにおいて、自転車やバイクの入退場と精算を管理するシステムです。既に商業施設様、自治体様でご採用いただいております。

今後も「電磁ラック式駐輪場管理システム」を含め、パーキングビジネスに注力してまいります。

## 03 新型地震計「STR-363」販売開始

当社は、主に全国の自治体様でご採用いただいている「STR-361」の後継機、「STR-363」の販売を開始しました。

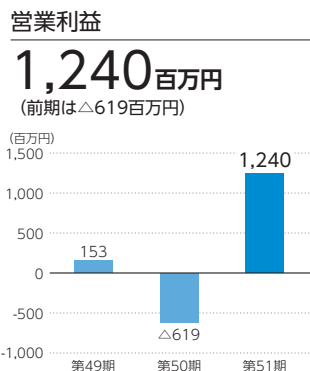
被災による停電が起きた際のバッテリーによるバックアップ時間の延長や、通信が遮断した際に地震情報を伝達する方法として、データをQRコードに残し、スマートフォン等で閲覧できる機能などを新たに追加しました。

当社は防災計測システムを通して、地震による防災・減災を目指します。

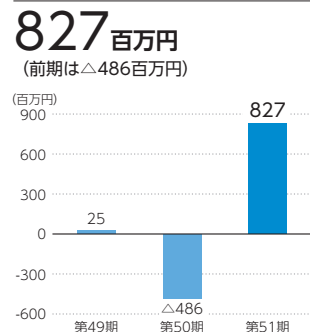


STR-363

## 連結財務ハイライト



親会社株主に帰属する  
当期純利益



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 第50期	当期 第51期
流動資産	10,590	11,290
固定資産	5,292	4,862
資産合計	15,883	16,152
流動負債	9,887	9,735
固定負債	3,760	3,451
負債合計	13,647	13,187
株主資本	2,119	2,903
その他の包括利益累計額	115	61
純資産合計	2,235	2,965
負債純資産合計	15,883	16,152

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第50期	当期 第51期
売上高	11,889	16,481
売上総利益	1,744	3,851
営業利益または損失 (△)	△619	1,240
経常利益または損失 (△)	△660	1,205
親会社株主に帰属する当期純利益または損失 (△)	△486	827

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第50期	当期 第51期
営業活動によるキャッシュ・フロー	445	1,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161	△938
現金及び現金同等物の増減額	206	27
現金及び現金同等物の期首残高	2,710	2,917
現金及び現金同等物の期末残高	2,917	2,944

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

# 会社の概要

## 会社の概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	410名(単体) 586名(連結)

## ■主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	交通システム機器 自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機(駅務用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器 硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
	特機システム機器 パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽 他

## 役員の状況 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	高見澤 和 夫	
専務取締役	辻 川 秀 邦	
常務取締役	岩 岡 修 修	
取締役	竹 田 一 雄	
取締役	花 岡 伸 一	
取締役	高 橋 利 明	
取締役	下 里 雄 二	
取締役	藤 曲 宏 弥	
取締役	上 原 良 房	
取締役	山 本 直 樹	社外取締役
取締役	木 村 敦 則	社外取締役 独立役員
常勤監査役	浮 田 健 夫	
常勤監査役	篠 崎 倫 夫	
監査役	倉 田 民 男	社外監査役 独立役員
監査役	田 中 勝 勝	社外監査役

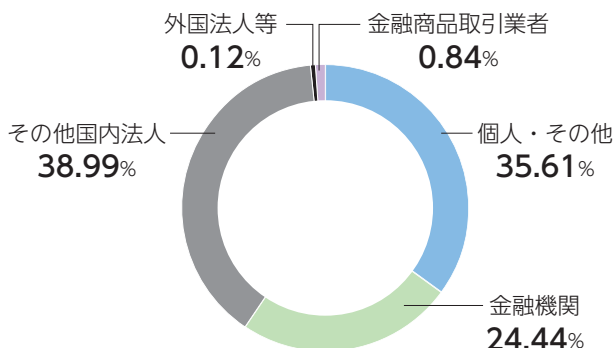
## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株  
(自己株式126,396株を含む)
- 株主数 2,134名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	519	11.81
富士通株式会社	450	10.23
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	232	5.28
I D E C株式会社	222	5.06
株式会社みずほ銀行	175	3.98
高見澤和夫	167	3.80
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27

- (注)1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。
2. 当社は、自己株式を126,396株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ●所有者別株式分布状況



## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 <a href="https://www.tacy.co.jp">https://www.tacy.co.jp</a>

## お知らせ

### 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

### よくあるご質問 (FAQ)

[https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)



### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



IR情報

<https://www.tacy.co.jp/ir/>



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD  
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。